

2021年1月21日
バイオマス・フューエル株式会社

BIOMASS FUEL VIETNAM が木質ペレットの出荷を開始

当社グループ、BIOMASS FUEL VIETNAM CO.,LTD.(以下 BMFV)は、ベトナム国ゲアン省における木質ペレット製造輸出事業におきまして、2020年11月14日に試運転試験を完了し、2021年1月21日に日本側仕向港に初船出荷しました。



BMFV が所有するプラントはベトナム国内日系初かつアジア最大規模を誇り、SDGs にも準拠し、設備も欧州 Hekotek 製によりベトナム最高品質の製品を製造中です。また、日本の FIT 制度基準に適した木質ペレットを年間約 16 万トン製造することが可能です。第 1 船目の出荷量は約 8500 トンであり、今後は日本や欧州バイオマス発電所向けに随時出荷していきます。2021 年内には欧州向け SBP 認証も取得予定です。

■ 第 1 船目の出荷を記念し『 First Shipment Ceremony 』を実施

1月20日に出荷場所である Cua Lo 港にて『 First Shipment Ceremony 』が執り行われ、現地の関係省庁をはじめ関係会社の方々にご列席を頂きました。



セレモニー演説で、バイオマス・フューエル常務取締役で BMFV 代表の野村栄介(左写真)は「ゲアン省、ドンナム経済特区、VSIP 工業団地、原料サプライヤーの方々や官公庁の方々、弊社従業員の皆様、本プロジェクトに投資して下さった大和エネルギー・インフラ株式会社様に感謝申し上げます。」と述べています。

またゲアン省農林農村開発局長ラム氏(中央写真)は「日本に木質ペレットを製造輸出開始したことは、ゲアン省としても農林農村開発局としても経済発展の兆しとして画期的な出来事です。製品原料である原木に関しまして、仮に BMFV 社が 2 倍の規模に拡大しても大丈夫ですので、ぜひ第二工場ご検討も宜しくお願い致します。」と述べています。

またクアロー港代表ダット氏(右写真)は「クアロー港初の木質ペレット出荷が出来たことは光栄です。また 2020 年はコロナの影響で大変困難な経済だった中、2021 年年明け直後にこのような機会に恵まれたことは皆さまにとって喜ばしいことであり、本年が皆さまにとって良い一年であることをお祈りいたします。」と述べています。

